

WHO-FIC ネットワーク年次会議 URC(ICF) 投票結果について

1. WHO-FIC ネットワーク年次会議分類改正改訂委員会 (URC)

開催日：2011年11月1日

出席者：各 WHO-FIC 協力センター代表、死因分類グループ(MRG)、疾病分類グループ(MbRG) 及び生活機能分類グループ(FDRG)の議長、WHO 担当官、FDRG 事務局、URC 事務局 委員会の決定原則：

全会一致であるが、不一致が生じた場合は WHO 担当官及び WHO-FIC 協力センター各 1 票ずつの投票が行われる。反対意見を述べない限りは賛成とみなされる。

審議結果：

今回は FDRG より 45 提案が提出されたが、時間の制約上、委員会では 20 提案が議論された。残りの 25 提案のうち 18 提案は 11 月 30 日に行われた電話会議において審議されることになり、7 提案については調整者及び WHO 担当官が詳細な再検討を要すると判断したため、審議対象から除外された。

- 審議件数 20 件
 - 受理 13 件（うち 10 件は修正の上受理）
 - 否決 1 件
 - 持ち越し 6 件（オープンディスカッションレイヤーへ差し戻し）

- 受理された主な提案
 - ・ 除かれるもの、含まれるものへの追加
 - ・「b310 音声機能」の「除かれるもの」に「代替性音声機能(b340)」を加える。
 - ・「b440 呼吸機能」の「含まれるもの」に「上・下気道気流量低下」を加える。
 - ・ 分類の追加
 - ・「d410 基本的な姿勢の変換」に「d4107 寝返り」を加える。
 - ・「d415 姿勢の保持」に「d4155 頭位の保持」を加える。
 - ・「d470 交通機関や手段の利用」に「d4703 交通手段としての人の利用」を追加する。
 - ・ 分類定義の修正、例示の追加
 - ・「d3501 会話の持続」の定義を修正する。
 - ・「d3600 遠隔通信用具の利用」の定義の例示を追加する。
 - ・「d4453 手や腕を回しひねること」の定義の例示を追加する。

- 持ち越しとなった主な提案
 - ・「d880 遊びにたずさわること」の追加については定義や分類構造について再検討が必要である。
 - ・「d172 計算」の細分類化の提案については分類の定義等について再検討が必要である。

2. 電話会議における審議結果について

開催日：2011年11月30日

出席者及び委員会の決定原則：1と同様。

審議結果：

- 審議件数 18件
 - 受理 11件（うち9件は修正の上受理）
 - 否決 1件
 - 取り下げ 6件

- 受理された主な提案
 - ・ 定義中の例示又は語句の追加
 - ・「e575 一般的な社会的支援サービス・制度・政策」
 - ・「e155 私用の建物の設計・建設用の製品と用具」
 - ・「d940 人権」の定義に国連・児童の権利に関する条約(1989)及び国連障害者権利条約(2006)を追記する。
 - ・ 分類の追加
 - ・「e1503 公共の建物内での人の身体的安全のための設計・建設用の製品と用具」
 - ・「e1553 私用の建物内での人の身体的安全のための設計・建物用の製品と用具」

- 持ち越しとなった主な提案
 - ・「d7104 対人関係における合図」の細分化及び「d7106 親しい人々の判別」の追加
 - ・「d7100 対人関係における敬意と思いやり」の定義への語句の追加
 - 理由：「一般的な対人関係」（d710-720）全体について統合された根拠と幅広い枠組みとしての再検討が必要であるため。
 - ・「d6302 食事の準備の手伝い」「d6406 食事の準備以外の家事の手伝い」「d6606 他者の援助への手伝い」の追加
 - ・ d660 定義への語句の追加
 - 理由：“helping”と“assisting”についてより統合された根拠と更に幅広い枠組みとしての再検討が必要であるため。